

よこはま建築ひろば

# こどもワークショップ・関連イベント

144

第4章  
100周年事業

令和4年11月12日(土)、横浜市役所1階アトリウムをメイン会場に、「よこはま建築ひろば こどもワークショップ」を開催し、関連イベントと合わせて、延べ約3,400名の方にご参加いただきました。

当日は、子どもたちが建築に親しむきっかけづくりを目的とした「こどもワークショップ」に加え、市役所内部や周辺の公共建築を巡るデジタルスタンプラリー、横浜市開港記念会館の改修工事現場見学会、市役所最上階にあるレセプションルームの特別開放、ガス・電気設備の歴史に関する展示など、様々な関連イベントを開催しました。

ワークショップの参加者からは「建築に興味があった」「普段体験できないことができて楽しかった」という声をいただくなど、多くの団体・企業等のご協力のもと、多くの方に建築に触れ、学び、楽しんでいただけるイベントとなり、大盛況のうちに終わることができました。



## よこはま建築ひろば こどもワークショップ 折り紙建築ワークショップ



切り込みが入った一枚の紙を折り、建物に変身させるワークショップです。折り紙建築家の茶谷 亜矢氏のご指導のもと、横浜市の代表的な公共建築物である横浜市役所及び横浜市開港記念会館を題材に、小学3～6年生の子どもたちが“紙が立体になる不思議”を体験しました。

集中力が必要な細かい作業でしたが、「難しかったけど楽しむことが出来た」、「達成感があった」という声をいただきました。

|         |   |
|---------|---|
| 出展      | 公益財団法人 横浜市建築保全公社                          |
| 講師      | 茶谷 亜矢 氏 [折り紙建築家/<br>有限会社オリガミックアーキテクチャー代表] |
| 対象年齢    | 小学3～6年生                                   |
| タイムテーブル | ① 10:00～、② 12:30～、③ 14:30～                |
| 参加者数    | 47人 (3回合計)                                |

## 工作！お家で使える延長コード作り



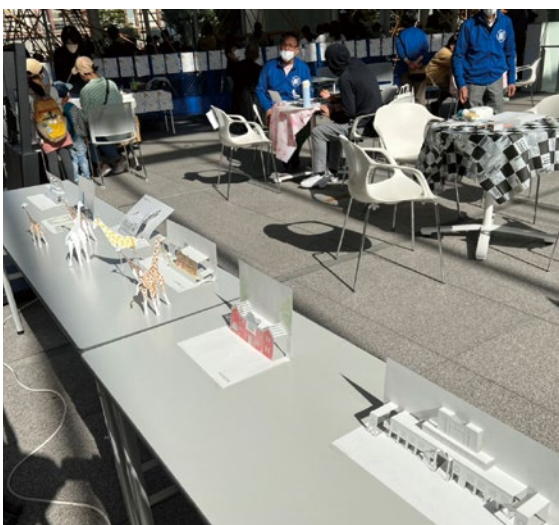
建物の中には、見えないところに電気配線が広がっています。お家で使える100Vの延長コード作りを、小学生の子どもたちが保護者の方と一緒に体験しました。ドライバーを握り、一生懸命に部品を組立て、最後に電球をつないでテストを行いました。電球が無事に点灯すると、喜ぶ子どもたちの顔が見られました。

「コンセントの中身を初め見た」「貴重な体験ができた」という言葉とともに多くの子どもたちが楽しみました。



|         |   |
|---------|---|
| 出展      | 一般社団法人 横浜市電設協会                          |
| 対象年齢    | 小学1～6年生                                 |
| タイムテーブル | ① 10:00～、② 11:30～、<br>③ 13:00～、④ 14:30～ |
| 参加者数    | 91人 (4回合計)                              |

## よこはま建築ひろば こどもワークショップ とび出す建物に色をぬろう



横浜市役所、横浜赤レンガ倉庫、大佛次郎記念会館、横浜美術館、横浜市開港記念会館、麒麟舎（よこはま動物園ズーラシア）が描かれている紙に、自由に色を塗るワークショップです。紙には切込みが入っていて、折るとあら不思議！建物を立てて飾ることもできます。

子どもたちからは、「楽しかった」「建築士の道にいきたい」という声も出るなど、建築に興味を持つきっかけとなるようなイベントになりました。

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 出展      | 一般社団法人<br>神奈川県建築士事務所協会 横浜支部 |
| 対象年齢    | 3歳～小学3年生                    |
| タイムテーブル | 10:00～15:30（随時受付）           |
| 参加者数    | 170人                        |



## 空間ワークショップ



グループで協力して、2種類の木の角材とジャンボ輪ゴムで家を建築していくワークショップです。

「強い構造を作るにはどうすれば良いのか」「どんな空間にしたいのか」等を考えながら、仲間と一つの家を建てる体験を行い、建てたあとは全員で解体・片付けをしました。

「家の作り方がわかった」「協力してできて良かった。友達ができた」という感想をいただくなど、実りあるワークショップとなりました。



|         |                        |
|---------|------------------------|
| 出展      | 公益社団法人 日本建築家協会 JIA 神奈川 |
| 対象年齢    | 小学4年生～中学3年生            |
| タイムテーブル | ① 10:00～、② 13:00～      |
| 参加者数    | 52人(2回合計)              |



## 間伐材で作るオリジナルコースター



2004年から山梨県道志村の水源林を中心に間伐活動を行っている団体に参加いただきました。間伐材を市内の公共建築に供給していただいた実績もあります。

ワークショップでは、子どもたちが自らつくるをテーマに、自ら丸太をのこぎりで切り、木の実で飾り付けたり、色を塗ったり、創意工夫が詰まったたくさんの作品が出来上がりました。「初めての体験だったけど、面白かった」などの感想をいただきました。

|         |  |
|---------|--|
| 出展      | 道志間伐材活用横浜 サポート隊 <small>どき</small> 道っ木い〜ず         |
| 対象年齢    | 4歳～小学6年生   |
| タイムテーブル | ① 10:00～、② 11:00～、③ 13:00～、<br>④ 14:00～、⑤ 15:00～ |
| 参加者数    | 50人 (5回合計)                                       |

## 建設重機・機械工具 体験会



150 建設工事に欠かせない、重機や手押し輪車に触れることができるワークショップです。重機コーナーでは、めったにお目にかかれないコンパクトトラックローダーへの乗車体験や記念撮影を行いました。また、手押し輪車コーナーでは、曲がりくねったコースでボールを運び、タイムを競いました。

「重機に乗れて思い出になった」「ボール運びが楽しかった」という声とともに、多くの子どもたちが、普段は出来ない体験を楽しみました。



|         |                    |
|---------|--------------------|
| 出展      | 横浜建設業青年会           |
| 対象年齢    | 小学1～6年生            |
| タイムテーブル | 10:00～16:00 (随時受付) |
| 参加者数    | 294人               |

## 関連イベント

# デジタルスタンプラリー



記念品 (左からカトラリー、エコバッグ、マグカップ)

スマートフォンを使用したデジタルスタンプラリーを実施しました。

市役所内のみを巡る「市庁舎コース」と、市役所周辺の公共建築を巡る「公共建築コース」の2つを用意。参加者は二次元コードから専用ウェブサイトにアクセスし、各施設に設置されたクイズに答えてスタンプをゲットします。スタンプを集めた方には100周年ロゴを印刷した記念品を配布しました。



|      |   |
|------|---|
| 協力   | 神奈川県官公庁営繕協議会  |
| 参加者数 | 639名  |
| 対象施設 | 横浜市役所、横浜人形の家、旧第一銀行横浜支店、象の鼻テラス、横浜マリンタワー、THE BAYS、横浜税関、横浜港大さん橋国際客船ターミナル、関内ホール |



## 工事現場見学会「横浜市開港記念会館」



「文化財の維持保全」のために長期休館を伴う改修工事中の「横浜市開港記念会館」で、一般向けの工事現場見学会を実施し、子どもから大人まで幅広い年代の方々に、ご参加いただきました。

冒頭で、開港記念会館の歴史や工事内容を説明し、その後、工事期間中にしか見ることができない「壁の漆喰塗り」や「表面仕上げを撤去した後のレンガ造の壁部分」等を紹介しました。

|         |   |
|---------|---|
| 協力      | 清水建設株式会社                                |
| タイムテーブル | ① 10:00～、② 11:30～、<br>③ 13:30～、④ 15:00～ |
| 参加者数    | 58人(4回合計)                               |

関連イベント

## 31階からの 景色を見よう

国内外からの賓客のおもてなしや、表彰式などの様々な記念行事に活用している31階レセプションルームを一般開放し、周辺の眺望を楽しんでいただくとともに、模型や動画を活用して市庁舎建設時の紹介等を行いました。



## ナゾ解き！ よこはま市役所 アドベンチャー

主催：総務局管理課

市役所館内周遊企画として、謎解きイベントを実施しました。当日は、市役所1階にて、来場者へ謎解き冊子を合計865枚配布しました。館内各所で謎解きを楽しむ方が見られ、市役所の賑わい創出に繋げることができました。

## ガス・電気設備展示

出展：東京ガスネットワーク株式会社、  
東京電力パワーグリッド株式会社、  
東京電力エナジーパートナー株式会社

共創フロントで公募を行い、3社と連携してガス設備・電気設備の展示を行いました。100年前に使用されていた貴重なガス・電気メーター、配管・配線、ガス灯や白黒テレビ等、歴史ある設備の展示に加えて、最新の設備展示を行いました。



# 横浜市こどもの美術展2022



「横浜市こどもの美術展2022」の展示風景 (Photo:Ken KATO)

## 「たてもの」をテーマに 子どもたちの絵画作品を募集

「横浜市こどもの美術展」は、毎年、子どもたちの絵画作品を募集し、賞を設けずに応募した全ての作品を展示しています。2022年は「自由テーマ部門」に加え、「横浜市公共建築100周年事業」の連携プログラムとして「たてもの」をテーマに開催されました。10日間の会期中、子どもたちが自由な発想でのびのびと描いた作品が並び、ご家族づれを中心に多くの方でにぎわいました。

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 主催   | 横浜市民ギャラリー                        |
| 会期   | 令和4年7月22日(金)～7月31日(日)            |
| 会場   | 横浜市民ギャラリー 展示室1～3                 |
| 出展点数 | たてもの部門221点、自由テーマ部門126点<br>合計347点 |



# こどもの絵画作品 LEDビジョン投影



こどもの絵画作品LED ビジョン投影風景

## 横浜市民ギャラリーと連携し、 子どもたちの作品219点を投影

アトリウムの大型LED ビジョンに「横浜市こどもの美術展2022」の応募作品のうち、「たてもの」部門の219点(0歳~小学校6年生)を映し出しました。会場では、大画面に投影された作品を背景に、多くの子どもたちや家族が写真を撮っていました。



# 年表・タペストリー展示

## 横浜市公共建築100周年事業

1922(大正11)年に横浜市の行政組織に、庁舎や学校などの公共建築物の整備を行う建築課が発足し、2022(令和4)年に100年を迎えました。これを契機として、これまでの公共建築の歴史を振り返り、これから先の未来へと取組をつないでいくため、「これまでも、これからも、横浜らしく」をテーマとする、横浜市公共建築100周年事業を実施しています。

これまで、教育、住生活、文化、福祉など市民サービスの場を提供するために、学校や市営住宅、市民利用施設など、様々な公共建築物を整備してきました。当展示では、人口などの推移とともに、時代ごとの背景や社会ニーズなどを踏まえて取り組んできた公共建築の歴史を年表としてまとめました。

公共建築が担う役割やこれからは見すえた技術など、テーマに分けて紹介しています。

主催：横浜市建築局/共催：公益財団法人横浜市建築保全公社

## 横浜市公共建築のはじまり 1922-



1917(大正6)年に開港記念会館の建設担当として招かれた山田七五郎は、臨時建築課、建築課において仲間とともに、学校や市営住宅、庁舎などを建設しました。

### 人口集中に応える市営住宅

横浜に職を求め人が集中し、住宅の供給が急務となり、主に木造の市営住宅を建設しました。この時代、他都市に先駆けて住宅の不燃化に取り組みました。また、震災以降は市内各地に市営住宅を建設しました。



横浜商工奨励館は震災の復興事業として、9か月という短期間で建設しました。現在も横浜情報文化センターの底層の一部として残っています。

### 都市をよみがえらせる復興事業



## 公共建築年表

◎ここという「公共建築」とは行政、教育、文化、福祉などに関わる様々な施設のことをいい、横浜市が直接整備したもののほか、民間が整備したもので委託を受けて横浜市が管理しているものも含まれます。◎グラフは残存する施設を竣工年別に集計したものです。

震災前市営住宅竣工数(戸数) 344戸  
住宅不足を緩和するため、1920(大正9)年に初めて市営住宅を久保山に建設し、翌1921(大正10)年には年間344戸の住宅を建設しました。◎残存していません。

### 1922 建築課発足

震災後震災復興小学校竣工数 12校  
震災により36校存在していた小学校の多くが失われ、1926(大正15、昭和元年)年から震災復興小学校として5年間で31校、特に1928(昭和3)年には年間12校を建設しました。◎残存していません。



- 昔の市の出来事
- 横浜市の出来事
- 1923 関東大震災
- 1927 区制施行 | 横浜区、神奈川区、中区、東区、南区、西区
- 1943 戦時体制
- 1943 戦時体制 | 1944 戦時体制
- 1945 戦後復興
- 1945 戦後復興 | 1946 戦後復興

### 建築課の発足

臨時建築課を経て、建築課が発足し、学校や市営住宅、市場などを整備しました。

### 震災からの復興

関東大震災の復興事業として震災復興小学校や市営住宅などを整備しました。

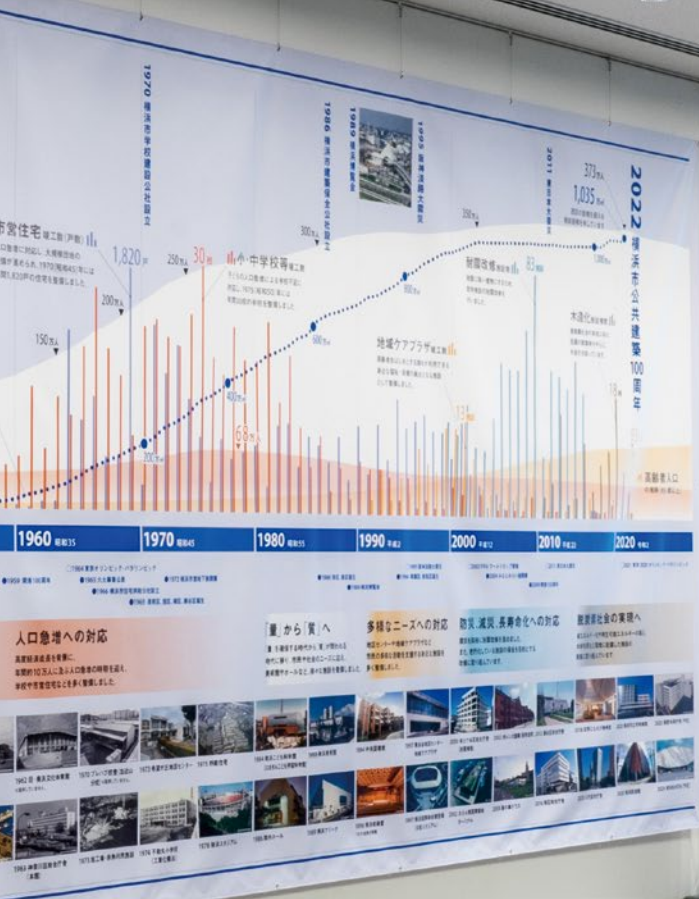
### 戦災からの復興

空襲により、市街地が焦土となり、多くの建物が消失しました。学校や市営住宅などの復興に力を注ぎました。



人口などの推移とともに、時代ごとの背景や社会ニーズなどを踏まえて取り組んできた横浜市公共建築の100年の歴史をまとめた年表と7枚のタペストリーを展示しました。

|      |                        |
|------|------------------------|
| 協力   | 公益財団法人 横浜市建築保全公社       |
| 展示期間 | 令和4年11月1日(火)～11月30日(水) |
| 展示場所 | 横浜市役所2階 展示スペース         |



### 公共建築物紹介

本館新築  
 本館改修  
 本館増築  
 本館移転  
 本館売却  
 本館賃貸  
 本館リース  
 本館売却  
 本館賃貸  
 本館リース

### 公共建築物紹介

本館新築  
 本館改修  
 本館増築  
 本館移転  
 本館売却  
 本館賃貸  
 本館リース  
 本館売却  
 本館賃貸  
 本館リース

### 公共建築物紹介

本館新築  
 本館改修  
 本館増築  
 本館移転  
 本館売却  
 本館賃貸  
 本館リース  
 本館売却  
 本館賃貸  
 本館リース